

# JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	HANDSIGN
フリガナ*	ハンドサイン
所属団体*	HANDSIGN
活動内容* (200文字以内)	<p>手話を交えた独自の表現方法でメッセージを届け、音楽とパフォーマンスで全ての人達が楽しめるライブ空間を追求し続けている。</p> <p>聴者とうろう者の架け橋になりボーダレスな社会実現を目指している。</p> <p>ニューヨークで開催されている「アマチュアナイト」で優勝を重ね 帰国後、様々な現場で活躍中。</p> <p>実話を基に制作した「僕が君の耳になる」のMVはYouTubeで再生回数が600万回を突破し話題を集めている。</p>
活動カテゴリ*	<input type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input checked="" type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他( )
紹介者氏名 紹介者がある方は記入	齋藤 裕貴
紹介者所属団体	(一社)横浜青年会議所
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか?*	青年会議所会員からの推薦(横浜青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア( )・その他( )
紹介理由 (200文字以内) ※紹介者がある方は 記載をお願い致します。	<p>歌と踊りに手話を融合させ、健常者と障がい者が共に楽しめる空間づくりに尽力している二人組ユニットです。数々のメディアにも取り上げられ、アーティストとしての影響力を最大限に活かした活動を全国各地で実施されており、カンボジアやフィリピンなどの貧困地域や聾学校での支援活動もされるなど、今後益々活動の膨らみが期待される運動がJCI JAPAN TOYP 2020の趣旨に合致すると思い紹介致しました。</p>

顔写真\*



経歴  
(200 文字以内)

2005 年・・・結成  
2009 年・・・NY アポロシアターコンテスト「アマチュアナイト」で初優勝  
翌年公認/パフォーマー認定  
2012 年・・・TED Tokyo 出演  
2013 年・・・NHK E テレ「みんなの手話」レギュラー出演  
2016 年・・・EXILE USA 氏へ手話ダンス振付提供  
2017 年・・・「僕が君の耳になる」制作  
日本初の全日本ろうあ連盟公認「デフリンピック応援テーマソング」制作  
2018 年・・・CX「PARA☆DO」オフィシャルアーティスト就任  
2019 年・・・ローマ教皇来日テーマソング振付担当

活動PR1\*  
(200 文字以内)

<若い世代にエンターテインメントを通じて手話や音楽の魅力を>  
全国の小中高校や聾学校を公演で訪れて、手話や音楽の魅力を伝えている。  
地元神奈川県内では 100 校プロジェクトを企画し、現在 82 校を実施中。  
若いうちから、手話の魅力を届け理解を深めてもらい、障害のある方への理解を深め、住みやすい街づくりになるきっかけを作り上げている。

活動PR2\*  
(200 文字以内)

<手話ダンス WS>  
日本で初めてストリートダンスと手話を融合した HANDSIGN。  
全国各地で手話ダンスの WS を展開中。聾学校へも積極的に訪れ、ダンスの臨時教師を務めるなど、音楽やダンスの素晴らしさを体験してもらう。  
海外展開も実施し、カンボジアやフィリピンなどの貧困地域や聾学校などで、手話ダンス支援プロジェクトを行う。

<p>活動PR3 (200文字以内)</p>	<p>&lt;実話を基にした感動のノンフィクションプロジェクト&gt; 「恋愛」「家族」「社会」この3つのテーマを題材に、耳の不自由な方の実体験を楽曲として発表。 「恋愛」がテーマの作品『僕が君の耳になる』は YouTube 再生回数 600 万回を突破。 作品を通じて、耳の不自由な方への理解を深めボーダレスな社会の実現を目指している。</p>
<p>SDGsのゴールと ターゲット番号及び 結びつきの説明 ※SDGsの取り組みを している方は記載をお願い 致します。</p>	<p>番号の記入( 3 ) ( 3. すべての人に健康と福祉を ) 説明( 歌とダンスに手話を取り入れたアーティストとして、耳も不自由な人も一緒にボーダレスな社会を目指す )</p>

■質問事項 (全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください</p> <p>メンバーTATSUがTBSドラマ「オレンジデイズ」を見たのがきっかけ。 当時、熱中していたストリートダンスと手話を融合し、ライブで踊った時に、今まではカッコいいなどの評価が多い中、『感動した』という声をたくさんもらい、音楽の可能性を感じた。 そこから耳の不自由な方との出会いを通じて、聞こえる人と聞こえない人の架け橋になるよう活動中。</p>
<p>質問2* (200文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</p> <p>音楽、ダンスそして手話の魅力をエンターテインメントを通じて発信することで、聞こえる人と聞こえない人の架け橋になり、ボーダレスな社会を実現したい。互いを理解し、聞こえないから音楽を楽しめないという常識を覆したい。</p>
<p>質問3* (200文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</p> <p>全国各地での公演や学校公演・手話ダンスWSを通じて、子どもからお年寄り、障がい者の壁を越え、多くの方が一緒に楽しめる空間を提供。 地元神奈川県内では100校プロジェクトを企画し、現在82校を実施中。</p>
<p>質問4* (200文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>聞こえる人と聞こえない人が共に楽しめる空間を提供し、それに触れてもらった人には、それを感じとってもらっています。 学校公演で訪れた学生さんが、HANDSIGNの活動やパフォーマンスを体験し、実際に福祉の仕事に就きました。</p>
<p>質問5 (200文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>それぞれのアイデンティティを尊重し、互いを理解する。世の中の常識にとらわれず、失敗や衝突を恐れず、責任を果たすことがリーダーシップと考えます。</p>

■推薦者情報 推薦者がいる場合のみ記入

<p>ブロック名*</p>	<p>神奈川ブロック</p>
<p>青年会議所名*</p>	<p>(一社)横浜青年会議所</p>
<p>担当役職*</p>	<p>ブランド戦略委員会 副委員長</p>

担当者氏名*	伊澤 利晃
フリガナ*	イザワ トシアキ
推薦理由* (200 文字以内)	歌と踊りに手話を融合させ、耳の聞こえる人、聞こえない人が共に楽しめる空間づくりを実践している二人組ユニットです。全国各地を赴きアーティストとしての影響力を存分に活かした活動をされており、カンボジアやフィリピンなどの貧困地域や聾学校での支援活動もされており、今後益々の波及効果が期待される運動がJCI JAPAN TOYP 2020の趣旨に合致すると考え推薦致しました。